

発表演題募集要項

1 募集プログラム

救護活動関係者を対象として発表の演題を募集します。

(1) 応募資格

消防職員、消防団員、都道府県や市町村等の防災関係者、医療関係者、救護活動に携わる方を対象とします。

(2) 募集演題

次の二つの部門で募集します。該当する部門を選択し応募ください。

ア 調査・研究報告の部門（組織や個人での取り組みなどについて）

イ 事例報告の部門（災害での活動事例などについて）

(3) 演題の参考

ア 項目

演題は、警防、救助等に関するなどを募集しています。次の項目を参考としてください。

(ア) 火災対応に関すること

(イ) 救助活動に関すること

(ウ) 集団災害対応に関すること

(エ) NBC災害対応に関すること

(オ) ヘリコプターに関すること

(カ) 応援、受援、緊急消防援助隊に関すること

(キ) 他機関との連携に関すること

(ク) 若手、隊員育成に関すること

(ケ) 惨事ストレスに関すること

(コ) 消防団活動に関すること

(シ) 少年消防団・少年消防クラブ等に関すること

(シ) その他

イ 過去の発表演題

過去に発表された演題タイトルです。演題作成の参考としてください。

(ア) 大規模災害における小規模消防本部の課題～東日本大震災の教訓から～

(イ) 多機関連携の強化～島根メディカルラリー救助ブースを通して～

(ウ) 狹隘空間での救助活動における障害物除去活動の検証

(エ) 車両閉じ込め対応の考察

(オ) 震災現場における救助現場トリアージ（レスキュートリアージ）の必要性について

(カ) さらなる他機関連携を目指して

(4) 募集演題数 3題（予定）

(5) 発表方法と発表時間

ア 発表方法：パソコンを使用した口演とし、スライドはパワーポイントを使用する。

パソコン（Windows [PowerPoint]）は会場にご用意しますので発表者は各自データを持参して頂きます。

イ 発表時間：発表時間 15 分程度（質問時間含む）

発表者が何らかの都合で当日発表できない場合は、共同研究者の 1 番目に記載されている者が発表するものとします。

2 応募方法

演題応募に際しては、「8 抄録原稿作成要件」をご確認いただき、「抄録原稿応募用紙」（様式 1 又は様式 2）に必要事項を入力し次のメールアドレスまで応募してください。

応募メールアドレス：nporiro_4th_conference@nporiro.com

3 応募締切

2025年11月30日（日）

4 選考・結果通知について

第4回全国救護活動研究会学術集会事務局他において選考を行い、発表演題を決定します。選考結果については、12月17日までに応募者個人のメールアドレスへ通知いたします。

5 発表者の費用負担について

(1) 参加費は徴収しません。

(2) 交通費及び宿泊費等は各自負担となりますのでご了承ください。

6 注意事項

(1) 抄録原稿については、個人情報保護の観点から、掲載に適さない固有名詞、日時等は「〇〇〇〇」での表記をお願いします。

なお、演題名についても同様の配慮をお願いします。

(2) 抄録原稿における出典資料等に関しては、必要に応じて出典本（参考文献・引用元）の明記を行ってください（応募者及び応募者の所属において判断してください。）

(3) 抄録原稿は事務局での校正は行いません。採用となった場合は、ご提出いただいた原稿が抄録集にそのまま掲載されることから、誤字や脱字にはご注意ください。

(4) 学術集会が中止となった場合、その理由の如何を問わず、現地までの交通費、宿泊費等の補償はできないことを了承ください。

7 参加方法

会場での対面発表または自宅等からのWEB発表からご選択ください。後日の変更も可能です。

8 抄録原稿作成要件

(1) 調査・研究報告の部門（様式1を使用）

ア 題名

発表内容の主旨を的確に示したものであり、文字数で最大40字を超えないこと。

イ 発表者および共同研究者

発表者の所属、氏名を筆頭に、共同研究者をこれに続き記載すること。共同研究者は最大で10名までとすること。

ウ 目的

なぜその研究を行ったのか、研究分野の背景とその目的を明確にすること。

エ 対象と方法

研究の方法と対象について具体的に記載すること。データの統計学的分析を行った場合にはその方法について記載すること。

オ 結果

研究から得られたデータをもとに、どのような結果が得られたか記載すること。

カ 考察

結果から得られた成果は何なのか明確に述べること。

キ メールアドレス

発表者と直接連絡がとれるメールアドレスを記載すること。

ク 電話番号

発表者と直接連絡がとれる電話番号を記載すること。

ケ 参加方法

対面発表、WEB発表から選択すること。

※ 上記ウ～カで、1000文字（全角・半角文字）以内とする。

(2) 事例報告の部門（様式2を使用）

ア 題名

発表内容の主旨を的確に示したものであり、文字数で最大40字を超えないこと。

イ 発表者および共同研究者

発表者の所属、氏名を筆頭に、共同研究者をこれに続き記載すること。共同研究者は最大で10名までとすること。

ウ 目的

事例を発表する理由と意義について明確に記載する。

エ 事例

事例の概要、対応、その事例の特徴などについて記載すること。

オ 考察

事例を経験したことから得られた知見を明確に示すこと。

カ メールアドレス

発表者と直接連絡がとれるメールアドレスを記載すること。

キ 電話番号

発表者と直接連絡がとれる電話番号を記載すること。

ク 参加方法

対面発表、WEB発表から選択すること。

※ 上記ウ～オで、1000文字（全角・半角文字）以内とする。

抄録原稿応募用紙
(調査・研究報告の部門)

題名		
発表者 および 共同研究者	所属	氏名
目的		
対象と方法		
結果		
考 察		
メールアドレス		
電話番号		
参加方法	対面発表	WEB 発表
	(該当項目に○をしてください)	

様式 2

抄録原稿応募用紙
(事例報告の部門)

題名		
発表者 および 共同研究者	所属	氏名
目的		
事例		
考 察		
メールアドレス		
電話番号		
参加方法	対面発表	WEB 発表
	(該当項目に○をしてください)	